

地域住宅計画の事後評価報告シート

1 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	鴨川市地域
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	鴨川市
④計画期間	令和3年度～令和7年度(二期)
⑤計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した市営住宅について、安全性・快適性を確保するための居住環境の改善を図る。 ・移住者に対する支援策により、定住促進を図る。 ・管理不全な空き家等が与える深刻な影響から地域住民の生活環境を守るとともに、利用可能な空き家の利活用を図る。
2 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	鴨川市都市建設課において評価を実施(令和8年5月)
⑦事後評価の結果	<p>指 標①:「市営住宅ストック総合改善事業の実施割合」 定 義:市営住宅(池田団地)の個別改善事業による居住性向上工事等実施件数 評価方法:個別改善事業による居住性向上工事完了の割合 結 果:従前値:53.3%(3年度当初)⇒目標値:75.5%(7年度)⇒実績値:60% 結果の分析:公営住宅ストック総合改善事業により、居住性向上工事等を実施し、取り組みの成果は上がったが、入居者との調整がつかず目標値を下回る結果となった。</p> <p>指 標②:「定住した世帯員数」 定 義:定住促進住宅取得奨励金事業により定住した世帯員数 評価方法:住宅取得奨励金の活用実績(人数) 結 果:従前値:280人(3年度当初)⇒目標値:500人(7年度)⇒実績値:471人 結果の分析:移住者に対する支援策により、定住促進を図ったが目標値を下回る結果となった。</p> <p>指 標③:「空家等対策計画の更新」 定 義:空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策計画の更新 評価方法:空き家の実態調査を実施し、空家等対策計画を更新する。 結 果:従前値:0%(6年度当初)⇒目標値:100%(7年度)⇒実績値:100% 結果の分析:空家等対策計画を更新し目標を達成できた。</p>
⑧結果の公表方法	鴨川市ホームページに掲載

3 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

⑨今後の住宅施策の取組への反映	市営住宅ストック総合改善事業の実施割合は、目標に至らなかったが、居住性向上工事等を実施し、取り組みの成果は上がった。令和8年度から始まる鴨川市地域住宅計画(第三期)において引き続き目標値とする。今後も既存の市営住宅の有効活用等のため、財政状況や社会情勢等を勘案し、鴨川市市営住宅長寿命化計画に基づき、良好な居住環境と安全性の確保に努める。
⑩その他	特になし

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。